

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して



Eジャーナルしずおか

静岡県教育委員会 教育広報紙

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp



令和4年(2022年) 7月5日 火曜日 第249号



池上教育長に迫る！

教育とは人間の可能性を信じること

令和4年5月現在で教育長就任2ヶ月が経過した池上重弘教育長。教育政策課が、池上教育長に2ヶ月経過しての所感や現在注目していることなどについて、インタビューしました。

● 教育長就任後、およそ2ヶ月経ちましたが、その所感についてお願いします。

現在は全体像をとらえている段階です。教育委員会の所掌業務は非常に幅広く、日によってやることが違うため、案件ごとに頭を切り替える、瞬発力を求められます。

現場主義を重視する私としては、早く現場の様子を見たり、先生方や子どもたちの声に耳を傾けたいですね。特に、土地勘の乏しい東部や伊豆の学校、特別支援学校の視察が必要と感じています。

また、探究活動を熱心に行っている学校や実践的な学びの機会を持つ学校を訪れてみたいです。学校と連携している地域の方々のお話も伺いたいです。

● 今後の教育について、注目していることを教えてください

キーワードは「多様性」。今までとは違い、子どもたちの多様な能力や資質、可能性を伸ばしていくように公教育も変わっていく必要があると考えています。「幸せな人生」は人によって多様です。多様な生き方に触れる切り口が探究活動だと思います。

学び直しの場合として、夜間中学を必要としている人のニーズに応えることは、学ぶ人たちの未来を切り拓くと同時に、地域にとっては新たな人材の発掘や育成につながります。**誰一人取り残さない教育を実現する**上で、夜間中学における学び直しの機会は重要です。

また、DXは教育においても重要なキーワードです。湖西市や島田市で行政の総合計画策定に関わった経験から、**デジタルの導入を目的化せず、トランスフォーメーション(DXのXにあ**

たる部分)を進める必要があると考えています。デジタル化の先にどんな学びの在り方の変革があるのか。学びの関係性がフラットになる、子どもたちの気付きが教員の気付きにつながるなど、本当の意味での**ワクワクする学びを教育のDXによって引き起こしたい**と思います。

多文化共生を考える上で、ダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包摂)の2つの視点が重要です。互いの学び合いにより、教育の認識に大きな変化が生じます。効率重視の教育に変革をもたらす起爆剤となるでしょう。

● 教職員、地域の方へメッセージをお願いします。

教育とは人間の可能性を信じることだと思います。本人の力で人が変わっていく、ダイナミックな場面が教育の現場にはあります。教育者の喜びはその場面に立ち会えることです。先生方が子どもたちと向き合う時間をとれるよう環境を整えていくことが教育委員会としてのミッションであると考えています。

地域の方とともに「子どもたちを地域で育てていく」という、21世紀版の地域での子育て環境を作っていきたいと思っています。コミュニティ・スクールや探究活動、部活動等の場面でそれぞれの立場で関わっていただきながら、地域と学校の連携をこれまで以上に促進してゆくつもりです。



池上教育長のプロフィール

● 休日の過ごし方

2歳の娘と過ごすことが多い。ドライブやショッピング、朝ベビーカーに娘を乗せて近所を走るなど。

● 趣味

音楽演奏(特にジャズ) マラソン(静岡マラソンでサブ4)



インタビュー動画はコチラ



実践NOTE⁴⁹⁵ よりよく生きるための道徳性を育む道徳教育

天竜特別支援学校 教諭 長野 蓉子

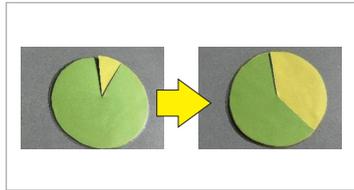
本校は隣接する病院で継続的な治療を受けながら学ぶ病弱特別支援学校です。よりよく生きるための道徳性を育むため、自分自身や人との関わり、集団との関わりなどについて特性に応じた道徳教育を進めています。



授業中の筆者

教科としての道徳の充実

特別の教科である〔道徳〕の授業を週に1回実施する小中学部では、特性に応じて自分の考えを深めることができるように話し合いや発問を工夫しています。人前で発言することが苦手であっても、心情円を動かして友達に見せたり、付箋や短冊に意見を記入して黒板に貼ったりして考えを表現できるようにしています。問い掛け方も工夫します。「誠実に生きる」をテーマにした授業では、大劇場へ行かないと決意した手品師について「自分の夢なんだから、男の子との約束は守れなくてもいいんじゃないかな。」と教師が問い返して児童の思考を揺さぶります。パペット(人形)を使うなど少人数でも話し合いが活発になるようにしています。



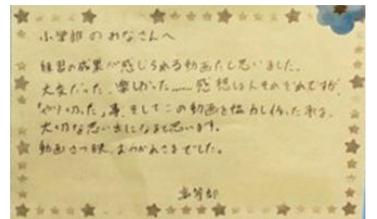
心情円で思いを見える化

教師の研修では、授業の記録をもとに複数の教師の目で児童の発言や行動から変容を見取りました。「規則の尊重」をテーマにした授業に

おいて、「決まってるから。」と、「きまりだから守らなければならない」と授業の最初に考えていた児童がいました。しかし、授業が進むにつれ「みんなが平等に過ごせるようにきまりを守る。」と発言が変わってきました。きまりを守ることへの前向きな発言が増え、他者を意識した発言になっていきました。

道徳教育は学校教育活動全体で行う

道徳科の授業以外における道徳教育も充実させるため、重点的に指導する道徳的価値を教師同士で話し合ったり道徳性のあらわれている姿を共有したりしました。学校行事ではお互いの頑張り認め合い、メッセージを送り合う活動、自立活動では「価値観ババ抜き」でお互いの価値観を知る活動を行いました。どちらも本校で大事にしたい相互理解に関する活動です。また、外気浴で自然と触れ合う姿、あいさつをして人と関わる姿、身の回りを整えている姿など、道徳的価値が日常生活にもあふれていることを教師自身が見つけ児童生徒とも共有しました。



それぞれの個性や立場を尊重(相互理解、寛容)



みんなで協力(よりよい学校生活、集団生活の充実) 節度のある生活(節度、節制)

実践NOTE⁴⁹⁶ 子どもたちの学ぶ喜びを目指す算数授業を目指して

森町立飯田小学校 教諭 梅田 政希

心構え

「教師は授業で勝負」。初任者として研修を受けたとき、講師の先生が言った言葉です。教科や単元の学習を通して身に付けさせたい資質や能力を明確にして単元を構想し、協働的な学び、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が求められています。子どもが関わり合い、学級という集団で学ぶ喜びを味わえる授業を目指しています。



授業中の筆者

子ども主体の授業づくり

子どもたちの中に「解決したい」「やってみよう」という思いを持たせることが、主体的な学びをスタートさせる上で必要です。そのため、子どものつぶやきや発言を学習課題につなげること、授業の展開やまとめを行うことを心掛けています。



求め方を書いた児童のノート

子どもたちの考えや表現の仕方は多様です。予想できない考えが出てくることもあります。例えば、子どもが既習事項を生かしてかけ算の求め方を説明する場面では、感覚的に答えが分かっている言葉で表現することが難しいときがあります。そのため教師が子どもに問い返して思いや考えを引き出したり、学級全員で思考の流れを想像したりして、1人1人の考えを大切にしていきます。問題を解決していく過程で子どもたちの考えが

ながって答えにたどりついた喜び、算数は面白いと感じられる楽しい経験を積み重ね、主体的に学ぶ姿を育んでいきたいと思っています。

ICT 機器の活用

目的に合わせてタブレットを活用し、ねらいに迫る手だてとします。算数の学習では、問題解決のために式や図などを描き、根拠を基に筋道を立てて考えることがあります。描いたものをタブレットで撮影して画像を共有することで、学級全員の考えを知ることができるようになりました。発表している子の式や図などを手元で見ながら話を聞いたり、友達の考えと比較したりして、理解を深め、考えを広げる姿がありました。かけ算の求め方を発表する場面では、分け方に違いはあるものの既習の「分配法則」を生かした考え方をしている子が複数いることを確かめることができました。ねらいに迫る手だてとして、いつ、どのようにタブレットを活用することが有効的な活用の仕方なのかを考えていきたいと思っています。



ノートを撮影する児童

振り返り、今後につなげる

継続して続けていくもの、変えていく必要のあるものを明確にして、指導方法を改善していきます。求められているものを自覚して責任感をもち、子どもたちの学びを充実させるために授業改善に努め、成長を支えられるように挑戦していきたいと思っています。

総合教育センター **よすなろAngle**

不登校の「未然防止」「早期発見・早期対応」のために、子どもたちのレジリエンスに着目

不登校(学校不適應)から回復した事例の聞き取り調査を行い、その結果から「学校不適應の状態から回復を促したと思われるレジリエンス要因」をまとめました。また、それを「子どものレジリエンスを高める10のコツ」にあわせて整理したものが下記の表です。

これらのレジリエンス要因を、普段から学習や生活に意図的に取り入れて支援・指導をすることで、子どもたちのレジリエンスが高まり、学校不適應を予防したり、早期に回復したりすることにつながると考えます。

聞き取り調査から分かったレジリエンス要因		「子どものレジリエンスを高める10のコツ」※より
目標 (自己決定の機会)	将来の夢をもつ	・目標に向かって進む
	実現の可能性がある進路希望をもつ	・事実を正しくとらえ、楽観的な見通しをもつ
	見通しをもつ	・人生に変化はつきものだと受け入れる
自己理解	自分の弱さを認める	・一休みする(問題から離れる)
	自分の長所(短所)が分かる	・セルフケアを学ぶ
	自分の考えや思いを整理する	・事実を正しくとらえ、楽観的な見通しをもつ
自己表現 (自己決定の場)	自分ができることをやる	・自己発見のきっかけを探す
	自分の思いや考えを伝える	・毎日の日課を守る
支える、 支えられる体験	人とのつながりを伝える	・自己肯定感をはぐくむ
	居場所がある	・つながりを築く
		・人を助ける経験をする
		・毎日の日課を守る



不登校児童生徒数は年々増加しており、「未然防止」「早期発見・早期対応」が求められています。教育相談課では子どもたちのレジリエンスに着目し、以下の三点について研究しています。

- ①援助資源に早期につながるためのツールの活用方法
- ②援助資源につながるためのスキルの指導方法
- ③学校不適應を予防したり素早い回復を促したりする学校の環境・体制(システム)

今年度の研究報告会で報告します。



※Resilience guide for parents and teachers(2020. AMERICAN PSYCHOLOGICAL ASSOCIATION) 「10 tips for building resilience in children and teens」

【総合教育センター 教育相談課】 TEL 0537-24-9735

やってみよう! ビブリオバトル!!

? ビブリオバトルとは・・・?

「ビブリオバトル」は「知的書評合戦」とも呼ばれます。参加者同士で本の紹介をし合い、もっとも読みたいと思う本を集まった人全員の投票で決めます。

1

発表参加者が読んで面白かった本を持って集まる。

2

順番に一人5分間で本を紹介する。

3

参加者全員でその発表に関するディスカッションを2~3分で行う。

4

「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を一人一票で行い、最多票の本を「チャンプ本」とする。

! やってみよう! ビブリオバトル!

誰とでも気軽に開催でき、本だけでなく人との交流を楽しめることがビブリオバトルの特徴です。新しい本と出会い、知らなかった友人の一面にも出会えるかもしれません。相手に自分の想いを伝えるプレゼン力がつくことも期待できます。学校でも取り組んでみませんか?

各学校で取り組まれています!

沼津市立沼津高等学校での取組の様子

本の魅力と発表者の魅力の両方を楽しめた。普段読まないジャンルの本も読みたくなった。発表者の本への愛が感じられてとても楽しかった。

【県大会】静岡県高等学校ビブリオバトル

募集中 申込締切 9月5日(月)

日時 令和4年9月25日(日) 9:30開始(開場9:15) **会場** 常葉大学静岡草薙キャンパス (静岡市駿河区弥生町6-1)

県内の本好きな高校生が一堂に会し、自慢の本を紹介し合う静岡県高等学校ビブリオバトルを開催します。チャンプ本の発表者は全国大会に推薦されます。参加を希望する高校生は、学校を通じてお申込みください。

※ 今後のコロナウイルスの感染状況によっては、開催方法を変更する場合があります。詳細は各高校に配布の開催要項を御確認ください。

令和元年度第5回大会の様子

【社会教育課】 TEL 054-221-3160

県内の魅力ある企業を動画で紹介!!

~授業等で企業の動画(YouTube)をご活用ください~

ふじのくに

7つの産業革命

県内企業の魅力を知ってもらうきっかけとして、県内で活躍している企業を動画で紹介しています。授業等でぜひご活用ください!

詳細はコチラから



紹介企業 21社

カック内は地域経済牽引事業*の実施場所
※地域の特性を生かした成長性の高い新たな分野に挑戦する事業

- ・(株)竹屋旅館 (静岡市)
- ・(株)平垣製作所 (静岡市)
- ・三立製菓(株) (浜松市)
- ・(株)サンワネット (浜松市)
- ・(株)SPLYZA (浜松市)
- ・(株)フクダサインボード (浜松市)
- ・春日製紙工業(株) (富士市)
- ・金子歯車工業(株) (富士市)
- ・静岡ガス(株) (富士市)
- ・(株)田子の月 (富士市)
- ・天間特殊製紙(株) (富士市)
- ・丸富製紙(株) (富士市)
- ・芝原工業(株) (磐田市)
- ・(株)シノミヤ (藤枝市)
- ・西光エンジニアリング(株) (藤枝市)
- ・羽立化工(株) (湖西市)
- ・羽立工業(株) (湖西市)
- ・増田工業(株) (牧之原市)
- ・(株)エステック (清水町)
- ・静岡オーガニック抹茶(株) (川根本町)
- ・(株)おさだ製茶 (森町)

◆ 活用方法イメージ

就職活動
オリエン
テーション

地元企業の
紹介

授業での
活用

PC操作
方法の
説明時

【産業政策課】 TEL 054-221-2605 e-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

夏休み子ども図書ウィーク開催!

夏休みの自由研究どうしよう…



夏休み期間中、図書館では子ども向けに役立つイベントが盛りだくさん! 自由研究に役立てよう!!



期間 7月30日(土)~8月5日(金) 場所 静岡県立中央図書館

イベント名	講師	内容
親子統計グラフ教室	県データ活用推進課	グラフ作りや静岡県に関する統計クイズに挑戦。パソコンの統計キッズページも使ってみよう。ふじっぴーもやって来る。
親子ドローン体験教室	株式会社富士空撮サービス	室内でドローン操縦体験、ドローン空撮映像鑑賞、ドローンの種類や機材、撮影方法を学ぼう。
ユニバーサルデザイン絵本手作り教室	静岡文化芸術大学 林左和子教授	年齢や立場を越えてともに楽しむことができる絵本を、身近な材料で作ってみよう。
折り紙あそび教室	飯野巖氏 飯野紀代子氏 (読み聞かせネットワーク会員)	よく飛ぶ紙ひこうき、夏の虫、魚、朝顔など、夏をテーマにした折り紙に挑戦しよう。

詳細な日程や申込方法、定員などは静岡県立中央図書館Webサイトをチェック!!



【中央図書館企画振興課企画班】

皆さんの気付き、疑問を統計グラフに! 第70回 静岡県統計グラフコンクール

統計グラフコンクールへの参加は、統計学習の第一歩として非常に役立ちます。児童・生徒は、統計グラフの作成を通して、客観的な事実に基づく判断力、自分の考えを他者に伝えるための表現力、根拠に基づく説得力のある提案方法などの統計的思考力を身につけることができます。

入賞区分

- 特別賞 [県知事賞・県教育委員会教育長賞・県統計協会会長賞・県教育研究会会長賞・県出版文化会理事長賞・県教育会館理事長賞]
- 県内報道機関賞 ●入選 ●佳作 ●努力賞 ●学校賞



グラフ博士

中でも優秀な作品は、全国コンクールにも出品するんじゃ。

締め切り

キッズページはこちら

9/1(木)

募集要領または県統計キッズページ「グラフ博士のとうけい工場」をご覧ください。



前回優秀作品
令和3年度静岡県教育長賞 (小学校3~4年生の部)
長泉町立長泉小学校4年(制作時)
井上 優香さん

データ活用推進課では、データの収集・活用方法などについての統計出前講座も実施しています。現在、実施校を募集しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

【デジタル戦略局データ活用推進課】

TEL 054-221-2298

e-mail datakatsuyou@pref.shizuoka.lg.jp

その取組、世界に向けて発信してみませんか 情報発信のススメ

- SNS
- 広報誌
- 記者提供
- ホームページ

皆さんは、普通学校の情報発信をどのようにされていますか? 各学校それぞれに、特色のある素晴らしい取組をしているにも関わらず、脚光を浴びない事例がたびたび見受けられます。そこで、静岡県教育委員会公式SNSや本紙Eジャーナルしずおかを活用してみたいはいかがでしょうか。

情報発信に関する問い合わせはコチラ

- 電話番号 054-221-3674
- メール kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

教育政策課では、随時皆さんから広報してほしい情報をお待ちしております。電話でもメールでもかまいません。気軽にご連絡ください。

県政記者クラブへ情報提供する方法もあります。



静岡県教育委員会公式SNSフォローよろしくお願いします!

Twitter



- アカウント名 しずおか学校広報部 @shizuokaprefBOE
- ターゲット 中学生/高校生

Facebook



- アカウント名 静岡県教育委員会
- ターゲット 教職員/保護者/県民

【教育政策課】 TEL 054-221-3674

東海道シグマでは、介護に関する各種研修を実施しています。

広告

詳細はお気軽にお問い合わせください。少人数制の講座で感染症予防のための対策を積極的に行っていきます。

介護福祉士実務者研修

介護職員初任者研修

生活援助従事者研修

介護入門的研修

福祉用具専門相談員養成研修

家政士養成研修

会場 シグマカレッジ沼津駅前校 沼津市大手町3-2-20 サンフォービル5F (JR沼津駅南口より徒歩3分)

シグマカレッジ静岡校 静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F (JR静岡駅北口より徒歩5分)

シグマカレッジ浜松駅南校 浜松市中区砂山町353-3 大協土地ビル6F (JR浜松駅南口より徒歩3分)

全世代の誰もが駆け込み、立ち寄れる拠点

静岡市認知症ケア推進センター 「かけこまち七間町」

認知症の方やそのご家族への総合的な支援を行います。

相談受付中

午前9時~午後6時/火・木・金・土・日 静岡市葵区七間町5-8 ミライエ七間町1階

お問合せ先



東海道シグマ 地域福祉支援事業部 静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F 人材派遣業(派22-010009)・人材紹介業(22-ユ-010028)

TEL 054-255-4259

受付時間/平日9:00~17:30

東海道シグマ介護

http://www.sigma-jp.co.jp/landing/medicalcare/care/

